



《安曇野に多い石仏や碑》1970年、田淵行男記念館蔵

# 自然を見つめた 田淵行男展

Yukio Tabuchi Retrospective: Staring at Nature

2018年12月15日(土) — 2019年2月17日(日)

開館時間／午前9時～午後4時(入館は閉館30分前まで)

休館日／12/17(月)、12/25(火)、12/28(金)～1/3(木)、1/7(月)、1/15(火)、1/21(月)、1/28(月)、2/4(月)、2/12(火)

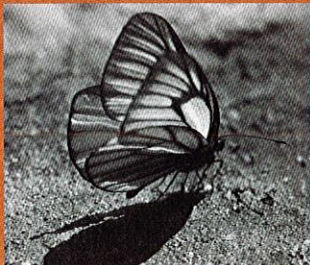
観覧料／( )内は団体20名以上

区分	企画展	企画展+講座	講座
一般	300(200)円	500(400)円	300(200)円
大学生	150(100)円	250(200)円	150(100)円

- ・高校生以下は無料です。
- ・講座聴講の方は常設展もご覧いただけます。
- ・常設展のみご覧の方は料金300円です。
- ・障がい者手帳などの交付を受けている方と同伴の介護の方は無料です。
- ・お得な年間パスポート(2,000円)も販売しています。ご利用ください。

主催／長野県立歴史館  
共催／安曇野市、安曇野市教育委員会  
特別協力／田淵行男記念館

後援／信濃毎日新聞社、朝日新聞長野総局、読売新聞長野支局、毎日新聞長野支局、産経新聞長野支局、中日新聞社、長野市民新聞社、市民タイムス、市民新聞グループ(7紙)、長野日報社、南信州新聞社、NHK長野放送局、SBC信越放送、NBS長野放送、TSBテレビ信州、abn長野朝日放送、日本ケーブルテレビ連盟信越支部長野県協議会、FM長野、FMぜんごうじ、屋代有線放送電話農業協同組合、(公財)八十二文化財団



【初夏の上高地 ミヤマシロチョウ】  
1954年、田淵行男記念館蔵

## 長野県立歴史館

千曲市屋代260-6 Tel (026) 274-2000 <http://www.npmh.net/>

【交通案内】長野自動車道「更埴」ICから車で5分。しなの鉄道「屋代」駅・「屋代高校前」駅から徒歩25分。

# 自然を見つめた 田淵行男展

田淵行男という写真家をご存じでしょうか。

安曇野市には田淵行男記念館があり、約8万点にのぼる資料を保存し、展示しています。この記念館は旧豊科町と全国の篤志家の支援によって平成2(1990)年設立されました。

田淵は山岳写真の重鎮であるとともに、高山蝶やアシナガバチの研究者でもありました。平成31(2019)年は、田淵行男が亡くなって30年という節目の年です。

今回の展示は、田淵の目を通して安曇野の景観がどのように変わったのか、民俗学者向山雅重たちとの雪形研究の交流などを軸に、田淵の自然観察力を、写真や「写蝶」(蝶を描いた水彩画)から見たいと思います。



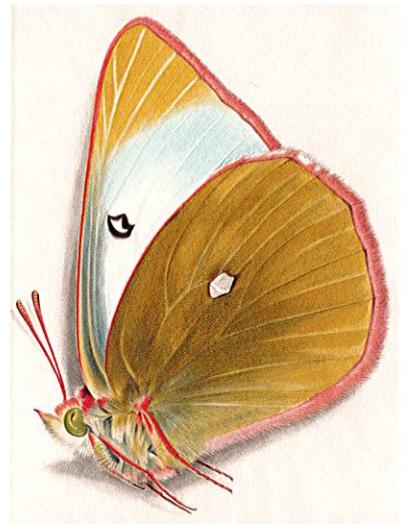
《中岳の「舞姫」(常念乗越より)》 田淵行男記念館蔵



田淵行男(常念一ノ沢にて、1955年)  
田淵行男記念館蔵



《安曇野田園風景 レンゲ田》1960年代、田淵行男記念館蔵



《ミヤマモンキチョウ》  
水彩、1948年、田淵行男記念館蔵



長野自動車道「更埴」ICから車で5分。  
しなの鉄道「屋代」駅、「屋代高校前」駅から徒歩25分。  
所在地：長野県千曲市屋代260-6

## 対談「田淵行男と人づくりー安曇野の環境保全ー」

- 平成31年1月19日(土) 午後1時30分～3時30分 ●入場無料
- 会場＝穂高交流学習センター「みらい」(安曇野市穂高6765-2) ●定員＝200名
- 参加者＝江田慧子氏(帝京科学大学専任講師)、巻山圭一氏(飯田高校長)、那須野雅好氏(安曇野市教育委員会文化課長)、笹本正治(長野県立歴史館長)、林誠(長野県立歴史館学芸員)

## ギャラリートーク

- 12月23日(日)、1月26日(土)、2月16日(土) いずれも午後1時30分～2時30分
- 要観覧料 ●会場＝長野県立歴史館・企画展示室

\* お問い合わせ(対談、ギャラリートークとも)：長野県立歴史館 Tel (026) 274-3991

## 田淵行男記念館のご案内

- 田淵行男写真展「北の山」 ●平成30年10月2日(火)ー平成31年1月20日(日)  
田淵行男写真展「北の山」(平成29年、JCIフォトサロン)で初公開された北海道の山々を紹介。
- 田淵行男写真展「日本アルプス」 ●平成31年1月22日(火)ー5月26日(日)  
昭和50年出版の写真集『日本アルプス』(国際情報社)から、カラーの山岳写真を紹介。

\* お問い合わせ：田淵行男記念館 Tel (0263) 72-9964